第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 QSL 費の送料の扱い

【本文】 QSL 転送作業は外注しているが、QSL 費は、委託費と送料、消耗品などに分かれている。送料は委託費と別に JARL が直接払っているのか。

第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 QSL 転送送料予算と転送実績

【本文】 QSL 転送の送料は、必要なだけ支払っているのか。それとも、予算内に収まるように、転送枚数をコントロールしているのか。

第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 QSL 費現象の理由

【本文】 前年度から、郵便料金の値上げがあったにもかかわらず、また、多数の滞留している QSL カードがあるのも関わらず平成 6 年度決算において QSL 費が減少しているのはなぜか。

第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 QSL 転送の工数把握

【本文】 QSL カードの滞留、転送枚数の増大への対応、あるいはそれらのコストダウンをはかるためには、転送作業の各段階における工数の把握が必要と考えるが把握しているか。

第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 QSL 転送の外注条件

【本文】 QSL 転送の外注においては、その成果に関する取り決め(発注条件:年間転送枚数*枚など)はあるのか。ある場合、その条件は適切か。

第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 QSL カード転送送料の受益者負担

【本文】 QSL カードを小包で受け取る一部の会員に対しては、受益者負担の観点から、送料着払いで発送することにしてはどうか。

第1号議題 令和6年度決算の件

【件名】 JARL 主催イベント等のネーミングライツの提案

【本文】 支出を抑えるのみならず、収入を増やす観点から、コンテストやアワードにネーミングライツを設定し(冠スポンサーを募り)、JARL の収益とすることを検討してみてもどうか。

第 1 号議題 令和6年度決算の件

【件名】 J・ニュースの紙での発行費用と Web での公開費用の内訳

【本文】 J・ニュース費は、QSL 費の半額近くと巨額である。紙での発行費用と Web での公開費用の内訳はどうなっているか。Web 版の費用は、下請委託費の一部と電子版費のみになるという認識でよいか

第 7 号議題 規則改正の件(各分野の専門家を理事として迎えるために、理事会が推薦する理事候補の人数の上限を増やすための規則改正案)

【件名】 推薦理事の適切な推薦の担保

【本文】 各分野の専門家の力を活用できることに期待するとともに、理事会の推薦である以上、理事会多数派の考えを追認するような人選となる心配がある。この心配がないことを、どのように担保するのか。

第 7 号議題 規則改正の件(各分野の専門家を理事として迎えるために、理事会が推薦する理事候補の人数の上限を増やすための規則改正案)

【件名】 専門分野に強い理事の選挙による選出

【本文】 理事選挙の際に、候補者に JARL が必要と考える専門分野に関する知見を問うこと(所信に記載)とすることにより、専門分野に強い理事を会員の選挙によって選ぶような工夫は考えられないか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 常務理事の業務負荷

【本文】 これまでの専務理事に代わり、常務理事という役職ができたという認識であるが、業務負荷がたいへん大きいと見受けられる。それを現在、個人の努力、負担、スキルがあつてこなすことができているのであれば、将来、担当者が変わった際に制度が破綻する心配があるが、どのように考えているか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 社員総会での出席社員への環境提供

【本文】 社員総会会場において、出席社員が利用できる電源およびインターネット回線は用意されるか。後者は、会場のページで 3,300 円で利用可能とあり、無線 LAN 装置があれば、共用可能となる。JARL に準備がなければ持参するが、当日の情報収集、情報提供のため、重要と考える。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 JARL 総会のオンライン中継

【本文】JARL 総会の内容の公開について、昨年の準備書面に対する回答では「引き続き検討課題とさせていただきます」とのことであった。6月9日現在オンライン中継のアナウンスはないが、検討の状況、実施予定は、どうなっているか。

報告事項 (1)令和6年度事業報告

【件名】JARL 社員選挙の選挙公報別紙の記入項目

【本文】JARL 社員選挙の選挙公報別紙の記入項目が選挙管理会で決められているのは不適切で選挙規定に沿った範囲で、自由であるべきと考える。昨年の回答は、「選挙管理会に伝える。理事会の回答は控える」であった。選挙管理会が勝手に決めてよいものなのか。

報告事項 (1)令和6年度事業報告

【件名】IARU100周年記念局が開設されていない理由

【本文】各国からIARU100周年の記念コールサインで運用がなされているなか、JAでは運用されていないことが寂しく残念である。IARUからJARLに対して、運用の働きかけはなかったのか。また、これからでも開設すべきとは考えていないか。

報告事項 (1)令和6年度事業報告

【件名】JARL会員のIARUの動向の把握

【本文】IARU100周年の記念局について、開設希望がJARLに寄せられなかったことが理由との常務理事からの非公式の場での回答があった。IARUから開設の働きかけがあったと仮定した場合、そのことを一般会員が知るすべはなかったと思うがどうか。一般会員も個別にIARUの動向を把握すべきということか。

報告事項 (1)令和6年度事業報告

【件名】今後のIARU100周年記念局開設のJARLの動向

【本文】IARU100周年の記念局の開設希望がこれまでなかったことを受け、私の所属するクラブが開設希望の連絡をJARL事務局に行っているが反応がない。事務負担、金銭的負担をクラブ側で行う条件である。JARLとしての負担は、非常に少ないと考えるが、IARU100周年記念局の開設に関わらないということか。

報告事項 (1)令和6年度事業報告

【件名】大阪・関西万博の記念局開設が関西のみの理由

【本文】大阪・関西万博の記念局(特別コールサイン)の開設が、3エリアのみなのはなぜか。「都市開催」の東京オリンピックの際には、すべてのエリアで記念局が運用された。万博は、国家イベントのはずで、日本全国で盛り上げるべきと考えるが、JARLは大阪のローカルイベントと考えているのか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 前会長に対する費用弁済要求の進捗

【本文】 前会長に対する法的措置について聞きたい。一連の不適切な会計に関して、「独断による専務理事への割増退職金」「専ら自己の弁護のための弁護士費用」など、まずは不適切である可能性が高いものから、費用弁済を求めてはどうか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 社員総会で理事候補が否決された場合の欠員の扱い

【本文】 社員総会で理事候補が否決され、その結果、欠員が生じた場合については、規則等で定められていない。「制度の改善を検討」との昨年の回答であったが、その後、どのようになっているか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 新会員が最初の 1 年で QSL が転送されてこない現状への対策

【本文】 現在の QSL 転送ペースでは、JARL 新会員が、1 年間の会費が切れるまで、1 回もカードが転送されてこない。昨年「会費切れとなっても、最初の 6 回はカードを転送すべき」と意見した。幅広く検討とのことであったが、一度も転送されてこないことへの検討結果は怎么样了か。「迅速に転送」することのみで解決を図る考えか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 コンテストの常置場所とそれ以外の運用を認めないルールの改定

【本文】 JARL 主催コンテストの常置場所とそれ以外の運用を認めないルールについて、昨年に引き続き質問する。「/1」等を付加せず、ナンバーも変えない条件であれば、認めても問題ないと考えるがどうか。

報告事項 (1)令和 6 年度事業報告

【件名】 コンテストの常置場所とそれ以外の運用を認めないルール(続き)

【本文】 JARL コンテストの常置場所とそれ以外の運用について引き続き。昨年回答では、移動運用のほうがたいへんなので区別ということであったが、常置場所のほうが、ロケ、アンテナの制限があり、運用が困難な場合も多い。提案を否定する理由として説得力がないと考えるがどうか。

報告事項 (2)令和 7 年度収支予算

【件名】 令和 7 年度予算における QSL 費の内訳

【本文】 平成 7 年度予算において QSL 費が 2,725 千円増加しているが、委託費、送料、消

耗品の内訳はどうなっているか。

報告事項 (2)令和 7 年度収支予算

【件名】 QSL 転送滞留の解決見込み

【本文】 JARL、および理事会は、QSL カード滞留は、令和 7 年度予算により、QSL 費を増額することでどの程度解決しようと考えているか。